

## 「入浴関連死予防ステッカー」配布について

毎年名取市内では、お風呂で救急事案が40件ほど発生しておりそのうち10件以上、心肺停止で発見されています。名取市内の年間交通事故死1～2名に比べ多い数です。寒暖差によるヒートショックによりお風呂で意識を失い、おぼれて命を落としたと思われる方もいます。

そこで名取市では、全世帯に「入浴関連死予防ステッカー」を配布します。お風呂内や脱衣所、洗面所等の家族が目につく所に貼り付け以下の注意点を全員で意識することにより、大切な人の命を救うことができます。

1. お湯の温度は41度以下にしましょう。(39℃～41℃が適温)
2. 脱衣所と浴室の温度格差を少なくしましょう。  
(冬期間には脱衣時、浴室のドアを開ける等の工夫を)
3. 飲酒や服薬後の入浴は控え、できれば食前に入りましょう。
4. 急に立ち上がりず、半身浴して上がりましょう。
5. 高齢者が入浴している時は、家族や周囲の人が声掛けするよう  
にしましょう。
6. 意識がないのを発見したら、まず水を抜き 119 番通報し指示  
を受けましょう。

貼付け例

